

スポーツウエルネス学部学位授与方針

学修成果

「学士(スポーツウエルネス学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。

※各項目の()内は全学の学修成果項目との関係性を記載

1. 豊かな人間性と高い倫理観を持って、リーダーシップを発揮できる。(主に、「1.リベラルアーツの素養」「5.他者を理解する姿勢」「7.リーダーシップ」「9.社会的実践力」と関連)
2. スポーツウエルネスに関する科学的視点や基礎知識・基礎理論を理解できる。(主に、「1.リベラルアーツの素養」「2.専門性」と関連)
3. スポーツウエルネス学に必要なとされる自然科学的研究法と人文社会科学的研究法を適切に運用できる。(主に、「1.リベラルアーツの素養」「2.専門性」「3.自己を理解し発展させる力」「6.表現力」と関連)
4. ウエルネスとスポーツ活動及びそれらを取り巻く社会環境に関する知見と諸理論を包括したスポーツウエルネス学を体系的に理解できる。(主に、「1.リベラルアーツの素養」「2.専門性」「8.国際性」と関連)
5. スポーツに関わる人々やスポーツの多様性を尊重し、行動することができる。(主に、「1.リベラルアーツの素養」「5.他者を理解する姿勢」「6.表現力」「9.社会的実践力」と関連)
6. 自らのキャリア設計をすることができる。(主に、「3.自己を理解し発展させる力」「4.キャリア展望を確立する力」「6.表現力」「9.社会的実践力」と関連)
7. グローバルスポーツの現況に触れ、国際的に活躍できる。(主に、「5.他者を理解する姿勢」「7.リーダーシップ」「8.国際性」「9.社会的実践力」と関連)

さらに全学共通科目により、

8. 言語 A の学修によって、聞く・話す・読む・書くという基本的技能にもとづいて、状況に応じて適切なコミュニケーションができる。さらに、英語圏の文化のみならず、英語を通して得た国際的な知見によって、多様な文化を理解し、対応できる。また、自分の専門領域の内容を英語で学ぶ基礎が身につく。また、NEXUSプログラムにより入学した学生については、言語 B と合わせて大学での学修に必要なとされる高度な日本語運用能力を養うとともに、実社会のコミュニケーションに対応できる実践的な日本語力を身につける。
9. 言語 B の学修によって、聞く・話す・読む・書くという基本的技能にもとづいて、日常生活における基本的なコミュニケーションができる。さらに、当該言語圏の文化のみならず、その言語を学ぶ過程で獲得した多元的な視点を通じて、異文化を理解し、対応できる。また、留学生については、大学での学修に必要なとされる高度な日本語運用能力を養うとともに、実社会のコミュニケーションに対応できる実践的な日本語力を身につける。
10. 学びの精神では、立教大学設立理念の一端に触れ、自ら主体的に学ぶ姿勢を身につけ、大

学での講義科目受講の包括的スキルを体得する。

11. 多彩な学びでは、学問的知見の多様性と豊饒性を理解し、他の諸学問の成果を交錯させることで、世界を複眼的に解読する柔軟な知性を涵養する。また、スポーツ実習では、心身の健康増進を目的とした科学的知識を理解し、スポーツの実践をととした体力の維持・向上、運動習慣を醸成する。